



新聞圖會

第 四 号

八尾會板

下野の目押切村に森田半之丞
 の家へ去る九八日の夜入の盜賊
 白刃をさらけて押入が
 半之丞も養子も眼を覺
 強氣の親子が力をつくせど
 賊の又刃の所持し更さる事
 手鎧を持ち走り出さる盗賊
 小立むの鐵夫あちを助け
 せんなく賊をいけんと早速廳へ送
 官其功を賞せし褒美をさる
 りしを
 笹木主人筆

新聞図会34号 文庫10-8069-27

